

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 AKIBAホールディングス
コード番号 6840 URL <https://www.akiba-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 礼一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3541-5068

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,208	7.9	422	8.1	409	3.2	249	10.0
2023年3月期第2四半期	6,677	11.7	459	146.9	422	123.9	276	187.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 277百万円 (8.8%) 2023年3月期第2四半期 304百万円 (190.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.12	
2023年3月期第2四半期	30.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	10,112	3,704	33.4	368.23
2023年3月期	10,136	3,427	30.8	340.36

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,382百万円 2023年3月期 3,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	23.3	1,000	6.0	950	7.9	600	14.5	65.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	9,192,560 株	2023年3月期	9,192,560 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	7,980 株	2023年3月期	7,980 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	9,184,580 株	2023年3月期2Q	9,184,580 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことにより経済活動の正常化が進み、インバウンド需要も回復いたしました。一方で、継続的な物価上昇や世界的な金融引き締めの影響もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,208百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は422百万円（前年同期比8.1%減）、経常利益は409百万円（前年同期比3.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は249百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

(単位：千円)

財務諸表科目	2023年3月期 第2四半期連結 累計期間	2024年3月期 第2四半期連結 累計期間	前期比
売上高	6,677,964	7,208,637	7.9%
売上原価	5,125,637	5,434,305	6.0%
売上総利益	1,552,327	1,774,331	14.3%
販売費及び一般管理費	1,092,927	1,351,969	23.7%
営業利益	459,399	422,362	△8.1%
営業外収益	6,164	2,720	△55.9%
営業外費用	42,565	15,422	△63.8%
経常利益	422,998	409,660	△3.2%
特別利益	—	—	—
特別損失	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	422,998	409,660	△3.2%
法人税等合計	127,943	139,216	8.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,730	249,149	△10.0%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「メモリ製品製造販売事業」としていた報告セグメントの名称を「メモリ・PC関連デバイス・IoT事業」に、「通信コンサルティング事業」としていた報告セグメントの名称を「通信建設テック事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更であり、セグメント情報に与える変更はありません。

① メモリ・PCデバイス・IoT事業

メモリ・PC関連デバイス・IoT事業においては、従来の法人向け、産業機器メーカー向けのメモリ販売や、BtoC向けの販売、産業用PC等の拡販、ネットワーク製品の販売、OWC社の付加価値商品の販売に取り組む他、新規商材の検討も行っていました。また、IoTソリューション事業においては鉄道車両向け監視カメラの開発など、新規案件の製品開発、販売に取り組んでまいりました。また、電源関連においては、高精度アイソレーションアンプの製品化や量産に向けた取り組みを進めるほか、CTC社製品を軸にした国内鉄道車両向けの電源の取り扱いを開始いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高はPCメーカー向けのメモリ販売が低調に推移したこともあり2,664百万円（前年同期比12.3%減）、展示会への出展や人員増強に伴う販管費の増加もあり、営業損失22百万円（前年同期は77百万円の営業利益）となりました。

② 通信建設テック事業

通信建設テック事業においては、通信建設工事業でキャリア3Gサービスのマイグレーション工事をはじめとして屋内・屋外の通信関連工事の完工件数が増加し、IoT関連工事や監視カメラ関連工事等も堅調に推移しております。コンタクトセンター事業においては、アルコールチェック案件での大手端末ベンダーとのAPI連携等により、同案件を中心とした新規案件の獲得が増加しております。また、昨年同様にタレントを起用した広告宣伝を当第2四半期から開始し、企業ブランディングの強化と新規案件の開拓を推進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,511百万円（前年同期比35.9%増）、営業利益285百万円（前年同期比17.0%増）と第2四半期累計で過去最高の売上・利益となりました。

③ HPC事業

HPC事業においては、ホームページでの事例紹介を通じた企業ブランディングや、商談の端緒づくり、また、リアルで開催される各種学会においてセミナーを開催する等、様々な機会を捉えての積極的な情報発信に努めてまいりました。一部の海外製品の長納期化の影響を受けて減収となったものの、相対的な利益率の向上により、営業利益は前期を上回る結果となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は897百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益95百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

（単位：千円）

	2023年3月期 第2四半期連結 累計期間	2024年3月期 第2四半期連結 累計期間	前期比
メモリ・PCデバイス・IoT事業			
売上高	3,036,440	2,664,361	△12.3%
営業利益及び損失	77,050	△22,713	—
通信建設テック事業			
売上高	2,583,782	3,511,834	35.9%
営業利益	243,800	285,316	17.0%
HPC事業			
売上高	919,941	897,539	△2.4%
営業利益	82,422	95,691	16.1%

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は9,271百万円となり、前連結会計年度末9,317百万円と比べ45百万円減少いたしました。

主な増減内訳として、当社グループの売上高が第4四半期に集中していることもあり、3月単月の売上高に比較して9月単月の売上高が少ないことから、受取手形、売掛金及び契約資産が420百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は841百万円となり、前連結会計年度末819百万円と比べ22百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は5,714百万円となり、前連結会計年度末5,798百万円と比べ84百万円減少いたしました。

主な増減内訳として、買掛金につきましては470百万円減少いたしました。また、新規の借入により短期借入金が700百万円増加いたしました。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は694百万円となり、前連結会計年度末910百万円と比べ216百万円減少いたしました。

主な増減内訳として、返済により長期借入金が225百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,704百万円となり、前連結会計年度末3,427百万円と比べ277百万円増加いたしました。

主な増減内訳として、利益剰余金の増加249百万円増加であります。

(単位：百万円)

	前連結 会計年度末 (2023年3月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (2023年9月30日)	増減額		主な増減理由
			増減額		
流動資産	9,317	9,271	△45		現金及び預金+95、受取手形、売掛金及び契約資産△420、仕掛品+105
固定資産	819	841	22		
資産合計	10,136	10,112	△23		—
流動負債	5,798	5,714	△84		買掛金△470、短期借入金+700
固定負債	910	694	△216		長期借入金△225
負債合計	6,709	6,408	△300		—
純資産合計	3,427	3,704	277		利益剰余金+249
負債純資産合計	10,136	10,112	△23		—

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)残高は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、3,487百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、255百万円(前年同期は490百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益409百万円、売上債権の減少420百万円といった増加要因があった一方で、棚卸資産の増加201百万円、仕入債務の減少470百万円、法人税等の支払額197百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は60百万円(前年同期は26百万円の減少)となりました。主な原因は、有形固定資産の取得による支出46百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は406百万円(前年同期は110百万円の減少)となりました。主な原因は、短期借入金の純増加700百万円、長期借入金の返済による支出282百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,444,107	3,539,620
受取手形、売掛金及び契約資産	4,283,150	3,862,993
商品及び製品	1,117,979	1,146,484
仕掛品	159,594	264,920
原材料	140,893	208,406
その他	175,082	251,916
貸倒引当金	△3,746	△2,781
流動資産合計	9,317,061	9,271,560
固定資産		
有形固定資産		
建物	154,335	191,460
減価償却累計額	△37,802	△46,944
建物(純額)	116,532	144,515
機械及び装置	18,522	20,254
減価償却累計額	△17,735	△18,398
機械及び装置(純額)	786	1,856
車両運搬具	52,941	54,895
減価償却累計額	△49,357	△51,687
車両運搬具(純額)	3,584	3,208
工具、器具及び備品	161,588	168,917
減価償却累計額	△129,059	△138,586
工具、器具及び備品(純額)	32,529	30,330
土地	37,710	37,710
リース資産	28,734	40,482
減価償却累計額	△19,012	△29,103
リース資産(純額)	9,721	11,378
建設仮勘定	1,633	1,633
有形固定資産合計	202,498	230,633
無形固定資産		
のれん	283,868	253,301
ソフトウェア	5,507	6,147
無形固定資産合計	289,375	259,449
投資その他の資産		
長期未収入金	25,424	25,424
繰延税金資産	146,495	161,593
その他	180,736	189,538
貸倒引当金	△25,424	△25,424
投資その他の資産合計	327,231	351,132
固定資産合計	819,106	841,214
資産合計	10,136,167	10,112,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,430,427	960,065
短期借入金	3,050,000	3,750,000
1年内返済予定の長期借入金	444,627	386,994
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
未払法人税等	197,818	155,311
賞与引当金	128,223	103,373
役員賞与引当金	44,500	—
その他	487,164	342,495
流動負債合計	5,798,759	5,714,240
固定負債		
長期借入金	702,427	477,417
社債	58,000	50,000
退職給付に係る負債	52,806	57,785
資産除去債務	51,836	55,336
その他	45,260	53,726
固定負債合計	910,330	694,266
負債合計	6,709,090	6,408,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	783,900	783,900
利益剰余金	2,245,312	2,494,462
自己株式	△2,505	△2,505
株主資本合計	3,126,708	3,375,858
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△566	6,181
その他の包括利益累計額合計	△566	6,181
非支配株主持分	300,934	322,229
純資産合計	3,427,077	3,704,268
負債純資産合計	10,136,167	10,112,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,677,964	7,208,637
売上原価	5,125,637	5,434,305
売上総利益	1,552,327	1,774,331
販売費及び一般管理費	1,092,927	1,351,969
営業利益	459,399	422,362
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	42
受取家賃	1,701	1,830
補助金収入	3,387	247
雑収入	1,033	599
営業外収益合計	6,164	2,720
営業外費用		
支払利息	10,115	10,772
為替差損	31,484	3,975
支払手数料	163	149
雑損失	801	525
営業外費用合計	42,565	15,422
経常利益	422,998	409,660
税金等調整前四半期純利益	422,998	409,660
法人税、住民税及び事業税	136,733	155,254
法人税等調整額	△8,789	△16,038
法人税等合計	127,943	139,216
四半期純利益	295,054	270,444
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,324	21,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,730	249,149

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	295,054	270,444
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	9,035	6,747
その他の包括利益合計	9,035	6,747
四半期包括利益	304,089	277,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,765	255,897
非支配株主に係る四半期包括利益	18,324	21,294

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	422,998	409,660
減価償却費	19,116	24,334
のれん償却額	1,628	30,566
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,533	△964
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,578	△24,849
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,518	4,979
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,700	△44,500
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,245	4,860
補助金収入	△3,387	△247
受取利息及び受取配当金	△42	△42
支払利息	10,115	10,772
為替差損益(△は益)	21,165	△2,718
売上債権の増減額(△は増加)	360,258	420,156
棚卸資産の増減額(△は増加)	△294,852	△201,344
仕入債務の増減額(△は減少)	△803,412	△470,361
未収入金の増減額(△は増加)	5,069	10,074
前渡金の増減額(△は増加)	△96,182	△44,981
未払金の増減額(△は減少)	△41,572	△17,449
未払費用の増減額(△は減少)	△38,976	△8,077
前受金の増減額(△は減少)	1,603	3,807
未収消費税等の増減額(△は増加)	68,363	△25,701
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,779	△127,290
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△6,204	—
その他	△4,132	△18,082
小計	△371,709	△67,399
利息及び配当金の受取額	42	42
利息の支払額	△9,292	△8,694
法人税等の還付額	40,840	18,140
法人税等の支払額	△153,732	△197,760
補助金の受取額	3,387	247
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490,465	△255,424

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,738	△46,044
無形固定資産の取得による支出	△1,800	△1,600
投資有価証券の取得による支出	—	△8,000
敷金及び保証金の差入による支出	△159	△458
敷金及び保証金の回収による収入	—	40
貸付金の回収による収入	—	252
定期預金の預入による支出	△8,400	△8,900
定期預金の払戻による収入	4,800	4,800
保険積立金の積立による支出	△366	△366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,664	△60,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△202,328	△282,643
社債の償還による支出	△8,000	△8,000
その他	—	△2,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,328	406,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,635	321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△625,821	91,412
現金及び現金同等物の期首残高	3,728,478	3,396,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,102,656	3,487,713

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ・PC関連 デバイス・ IoT事業	通信建設 テック事業	HPC事業	小計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	3,029,914	2,582,964	917,841	6,530,719	147,245	—	6,677,964
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,029,914	2,582,964	917,841	6,530,719	147,245	—	6,677,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,526	818	2,100	9,444	—	△9,444	—
計	3,036,440	2,583,782	919,941	6,540,163	147,245	△9,444	6,677,964
セグメント利益	77,050	243,800	82,422	403,272	24,436	31,690	459,399

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額31,690千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,647千円及びその他調整額187,337千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ・PC関連 デバイス・ IoT事業	通信建設 テック事業	HPC事業	小計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,661,449	3,507,315	892,489	7,061,254	147,383	—	7,208,637
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,661,449	3,507,315	892,489	7,061,254	147,383	—	7,208,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,912	4,519	5,050	12,481	—	△12,481	—
計	2,664,361	3,511,834	897,539	7,073,735	147,383	△12,481	7,208,637
セグメント利益又は損 失(△)	△22,713	285,316	95,691	358,295	4,161	59,906	422,362

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額59,906千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△168,654千円及びその他調整額228,560千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「メモリ製品製造販売」としていた報告セグメントの名称を「メモリ・PC関連デバイス・IoT」に、「通信コンサルティング」としていた報告セグメントの名称を「通信建設テック」に変更しております。なお、当該変更は報告セグメントの名称変更であり、セグメント情報に与える変更はありません。

また、これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報も変更後の名称で表示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。